

観天望気

令和8年度 朝礼 (6/29) 校長の話

おはようございます。

最近では台風もあり、お天気が安定しない日が続いています。皆さんは天気を知りたいとき、どうしていますか。最近ではインターネットやテレビなどを見れば、すぐに詳しいことが分かります。しかし、そのような機械がなかった昔はどうしていたのでしょうか。

私たちの先祖は、天気を知るために身の回りの自然をよく観察していました。そして、その経験の積み重ねをひとつの知恵として、天気予報をしていたといえます。

例えば、夕焼けがすごくきれいに見えた日は、決まって次の日は晴れです。また、ツバメが低く飛んでいるときは、その後決まって雨が降ります。もし誰かに、今夜はカエルがよく鳴きますねと言えば、こう答えたでしょう。明日は雨になりますよ、と。

こういうことは、現代では科学的に証明されています。夕焼けがきれいに見えるというのは西の空が晴れているからです。台風が西から東に動くように、天気は西から東へと変わっていきますから、西の空が晴れているということは自然と明日はその晴れがこちらへくるといえることとなります。ツバメが低く飛ぶというのは、ツバメが食べる虫が低く飛ぶということです。なぜ虫が低く飛んだかといえば湿度が高くなったからです。湿度が高いということは空気中に水分が多くなってきた、つまり雨が降る前兆ということです。カエルが鳴くとなぜ雨になるのかは、自分で調べてみてください。

さて、このように自然の状態を見て天気を知ることが、今日の四字熟語「観天望気」といいます。現代は、便利だからといってつい機械に頼ってしまいがちですが、私たちの体には生まれながらにして敏感に感じ取るセンサーがあることを忘れてはいけません。自然のものをよく観察するセンサーがあれば、天気の微妙な変化は感じられるものです。また、ちょっとした湿気や光の加減などを感じ取って、次に起こる天気の変化を予想することもできます。

皆さんは、AIを始めとするさまざまなデジタルと、これからも切っても切れない生活を送ることでしょう。しかし、それに頼ってばかりではいけません。生まれながらにして持っている、体を感じ取るセンサーがあるんだということを忘れず、むしろそれを磨いていける人になってほしいと思っています。

観天望気に関するお話は以上です。

次に二つ連絡をします。

一つは白百合女子大学で開催される「SDGs 英語イベント」のお知らせです。近くの白百合女子大学の学生さんたちは、これまでもいろいろなつながりを八中ともっていただいています。これからも絆をさらに強く深めていきたいと思っています。そこで、こんど英語の先生になるために勉強している白百合の学生さんたちと、英語を使いながらゲームやクイズ大会などをおこない、同時にSDGsの勉強もしていこうというイベントが開催されることになりました。日にちは7月20日海の日午後3時から2時間位です。楽しい遊びやお土産などもあるそうなのでぜひ参加してみてください。チラシが配られますので、QRコードで申し込み可能です。よろしく申し上げます。

二つ目のお知らせは、いじめ防止のポスターについてです。先日、東京都医学総合研究所の先生が1年生に向けて「いじめ防止の授業」をしてくださいました。そのときの内容をまとめたポスターを作ってくださいだったので、全ての教室に掲示してもらおうと思います。授業を聞いてない2、3年生の皆さんも、とても大事なことが書いてあるポスターなのでぜひ見ておいてください。いじめはそれを見逃している人にも責任があります。優しい八中生の力でいじめのない毎日を送れるようこれからも頑張っていきましょう。

先生の話は以上です。